



TCU-COM

p01 後援会副会長挨拶

p02 平成27年度「大学と保護者との連絡会」取材レポート

p05 平成27年度 就職動向と支援

p09 キャンパスSpot②

p11 クラブ活動紹介③

p17 Campus Topics

p19 平成27年度「大学と保護者との連絡会」実施結果

後援会副会長挨拶

職業を決めることの難しさ

自分が希望する職業を早い時点で決めることは本当に難しいことである。今の時代、それを早い時期に決められるのであれば、早ければ早い程、良い様に思う。中学・高校時代に決められた人はそれに向かって、必要な学問、知識、経験、スキルを得る為に必要な進路を決められる。大学に進学する場合には、学部だけでなく、学科や所属する研究室まで決められる。高校時代に決められなかった人は大学生活を送りながら、講義、部活、サークル、アルバイト、趣味等、色々な経験をしながら、なりたい職業を探すことになる。「趣味と実益を兼ねる」というが、自分の興味のある分野の職業につき、一生を通じて自己実現をするというのは現実的には稀なことであり、実際にそれが出来ている人はどれ位いるのだろうか？専門性が高い特殊な職業や自営業、芸能人等々、極めて限られている。企業に就職した一般的な会社員は、恐らくそうではない部類に入るのではないかと思う。但し、大学で学んだことに興味を持ち、技術系もしくは研究者としてそれを活かせる企業の研究開発部門や技術系の仕事に就けた人の中には当てはまる人も居るだろう。

私はというと、高校時代に将来なりたいと思えるような職業もなく、理系科目だけが比較的得意であったことから止むを得ず理系を選択し、大学の工学部に進学した。なりたい職業をイメージできないまま9年間も大学に通った後、大学の先生になることを選択せず、企業に就職した。学部、修士課程、博士課程と進学するにつれて専門性が高くなり、専門性を活かせる職業の選択肢がどんどん絞られて行った。学生の時はそのようなことを考えなかったが、後になって考えると正にそうであった。研究が本当に好きなのかどうか自分では分からないままに私は何となく企業の研究所(コーポレート機能の研究所で基礎研究を主に実施しているところ)を選択した。企業の研究所に入った後、27年間に渡り、好きな基礎研究を自由にやれたことは本当にラッキーなことであった。しかし、研究者になって良かった、なりたい、続けたいと心から思えるようになったのは、企業の研究所に入って1つ目に取り組んだ研究が成功した時である。この時が、自分が就きたい職業を本当に決めることができた瞬間と言える。成功体験の大切さを正に実感したことになる。本当なら遅くとも大学時代には決めなければならぬのに、30歳になって漸く^{ようやく}本当の意味で職業を決められたことになる。

私のようにならない為にも、本誌を読まれた学生の皆さんは、遅くとも大学時代に自分のなりたい職業を決めて欲しい。長い人生を有意義に過ごす為にも生き甲斐、遣り甲斐、趣味は大切であり、学生時代が終わる前にはぜひ1つは見つけて欲しいと思う。気が付いてみると、楽しい大学時代は、何も出来ないでいるまま、あっという間に過ぎ去ってしまうものである。



東京都市大学
後援会副会長

水谷 悟

平成27年度

「大学と保護者との連絡会」

取材レポート

取材担当：京都市大学新聞会



今年も全国各地で、後援会と大学の共催による「大学と保護者との連絡会」が開催されました。平成27年度は、10月3日に行われた世田谷、横浜、等々力の3キャンパスにおける連絡会をもって全日程を無事に終了。3キャンパスでの連絡会に参加された保護者の皆様のコメントを交え、当日の様様をご紹介します。

毎年、教職員が各地に出向いて、卒業生(校友会支部)の皆様にもご出席いただき、大学のビジョンや新しい取り組み、学生生活の様子、最新の就職状況などを説明するとともに、保護者の方々からのさまざまな疑問・質問に回答する、秋の恒例行事「大学と保護者との連絡会」。保護者からは、「大学のカリキュラム内容や就活への取り組みを直接聞くことができた」「子どもが学ぶキャンパスの雰囲気を感じて良かった」などと、毎回ご好評をいただいております。

平成27年度は、9月5日の水戸、さいたま、長野、静岡、広島での5会場スタート。全国17会場での開催を終えた後、10月3日、世田谷、横浜、等々力3キャンパスで掉尾を飾りました。この日の東京・横浜地区は、秋らしい爽やかな好天に恵まれ、各キャンパスとも数多くの保護者の皆様で賑わいました。



新学長の就任や新しいキャンパス、学生と企業との共同研究なども紹介されました

世田谷キャンパス会場では、知識工学部の連絡会が午前9時半から、工学部は午後0時半から受付を開始。30分後から学科の主任教授、教務担当教員、就職担当教員らによる各学科説明会、学年別説明会と懇談、その後、希望者に対する個人面談が行われました。

知識工学部自然科学科の学科説明会では、同学科の女子学生がキックマン飲料と共同開



受付開始と同時に多くの保護者が来場



説明会後にちょっと一休み



学科別説明会ではパソコンを使って分かりやすく説明

発した飲料水「花つぼみローズウォーター」の話題に触れ、飯島正徳主任教授は「本学のブランド力向上に貢献」と絶賛。就職担当も務める同教授が「都市大は就職・キャリア支援策が充実しており、大手企業に就職する学生も数多い。しかし今の学生はいったん自分の道を決めたら他を見向きもしない傾向がある。もっと選択の幅を広げるべき」と話すと、保護者の多くが頷いていました。

また工学部原子力安全工学科の学科説明会では、三木千壽新学長の就任や、二子玉川に夢キャンパスが開設されたことなど大学全体の新しい動向を横堀誠一主任教授が紹介。カリキュラムやキャンパスライフ、主な就職先などを松浦治明准教授が説明しました。その後の質疑応答では、成績評価方式の一つGPA(Grade Point Average)がどのように使用されているのか質問があり、大学側は、大学院推薦入試の候補者選抜などに使われると回答しました。

その後の学科・学年別懇談会で、機械システム工学科1年の保護者の教室では、工学を勉強することの意味やエンジニアの社会的意義などについて話し合われました。



学生に対する細かい支援策を紹介 外部講師による講演会も初開催

環境情報学部の改編により、環境学部とメディア情報学部との3学部体制となった横浜キャンパスには、現在、環境情報学部4年生と、環境学部、メディア情報学部の1～3年生が在籍しています。このため、午前中は環境学部とメディア情報学部、午後から環境情報学部の説明会を行いました。

午前10時から始まったメディア情報学部の学部・学科説明会では、中村雅子メディア情報学部長が、15年度から



学修・大学院進学について説明する広田教務委員長

スタートした本学独自の国際人育成プログラム「京都市大学オーストラリアプログラム(TAP)」の概要など、全学的なトピックスを紹介し、「本学部では、技術と

社会の両面を理解して、情報社会の行く末を読み解く学生を育てています」と説明。続いて、教務委員長の広田すみれ教授が、単位制度などについて解説し、「一つ一つの履修科目を大切に学んでほしい」と話しました。横浜キャンパスキャリア委員長の室田昌子教授は、14年度の学部の就職率が96.7%と高率だったことを紹介、「学内で数多くの企業研究会を実施しているので参加するよう伝えてほしい」と訴えました。また、今回初の試みとして、外部講師を招いての講演を実施。ソーシャルデザイン研究所の採用コンサルタント、渡邊剛氏が演台に立って「キャリア支援センターを活用している学生の方がそうでない学生より断然内定率が高い」などの話を披露しました。

4年生の保護者が集まる環境情報学部説明会にも、多くの保護者が集まり、会場はまたたく間にいっぱい。社会に出てからの心得などに熱心に聴き入っていました。



質疑応答も活発に行われました

東京都市大学が東急グループに属し、等々力、世田谷、横浜の3キャンパスの7学部が連携しながら教育、研究にあっていること、国内外の他大学ともパートナーシップを構築し、人間科学部と昭和大学との結びつきの強さなどが紹介されました。またそのカリキュラムの特色として「キャンパス内の子育て支援施設“ぴっぴ”や、八ヶ岳で自然に触れ合うなどの体験的授業を重視している」と話しました。キャリア支援を担当する倉田新准教授は、「保育機関への就職希望者は3年連続で就職率100%を達成。等々力キャンパスの学生は企業が求めるコミュニケーション力も高い」と胸を張りました。小林由利子教授は「世界大学ランキングで200位以内に入るニュージーランドのカンタベリー大学、オーストラリアのウーロンゴン大学と提携を結び、学生たちが現地で園児らと触れ合ったり、両大学の学生が本学の授業に参加するなど盛んに交流している」と異文化交流にも力を入れていることを語りました。

その後の個人面談にも多くの保護者が参加し、日頃知ることのできなかつた大学や学生たち、学生と社会を取り巻く環境変化などについて詳しく話を聞きました。

なお、今年度、全国の連絡会へのご参加は全1,681世帯。来年も多くの方々のご参加をお願いします。

等々力キャンパス 社会が求めるコミュニケーション力を高める等々力キャンパスの学び

等々力キャンパス会場では、午後0時半から受付開始、1時より都市生活学部と人間科学部の説明会がそれぞれスタートしました。人間科学部児童学科の学部・学科説明会では、15年4月に学部長に就任した井戸ゆかり教授が挨拶。



200を超える参加申し込みがあった等々力会場



「等々力の学生は対話力が高い」と倉田准教授

沼津会場

本学の取り組みや大学生活の理解を深める機会として

横浜キャンパス 学生支援センター 課長 深山 芳寛

「平成27年度大学と保護者との連絡会—沼津会場—」は、平成27年9月6日(日)午前10時より、ホテル沼津キャッスルにて開催されました。当日は、27世帯39名の保護者の出席がありました。

本連絡会では、冊子とともに写真やデータを盛り込んだパワーポイントを使用して説明を行いました。内容は大学の近況として三木新学長の就任をはじめ、二子玉川夢キャンパスのオープン、本学女子学生とデルモンテとのコラボ飲料である「花つぼみ ローズウォーター」の開発・販売、「朝活応援100円朝食」等についてご紹介をさせていただいた後、学修について、成績通知書の見方や各学年における学修計画と到達目標等についての説明を行い、学生生活の注意事項や奨学金等の経済的支援についての説明、さらに進路(就職・進学)について、学生の就職活動を取り巻く昨今の状況及び、それに対する大学のサポート体制や大学院進学に関する説明へと進めさせていただきました。保護者の方々はそれぞれの内容について熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

大学の説明に続き、本学の同窓会組織である東京都市大学校友会静岡県支部より2名のご出席があり、支部の同窓会活動の紹介と県内の就職状況等についてお話いただきました。その後の質疑応答では、今年度は採用選考開始時期が8月1日となったことから就職状況等について、より踏み込んだ内容の説明がなされました。全体会終了後は、希望者を対象として個別相談が行われました。日頃の大学の取組みや離れて暮らすご子女の大学生活について、保護者の方々に理解を深めていただく良い機会となりました。



世田谷 キャンパス



原子力安全工学科 3年
長橋 孝将君のお父さん

落ち着いた雰囲気のこのキャンパスは最高ですね。ここに来る度、息子を都市大に入れて良かったと思います。



医用工学科 1年
通崎 悟君のお父さん

群馬から初参加。設備が充実していますね。減多に来る機会がないので、今日は先生にいろいろ聞いて帰ります。



建築学科 4年
石川 恵理さんのご両親

建築学科の建物は美しい。娘はすでに進学が決まっているので、大学院での研究活動について伺うつもりです。



建築学科 4年
和田 あかりさんのご両親

理想論でなく現実的な話をしてくれるので、親として安心できる。今日はいろいろな不安が払拭されました。



都市工学科 3年
武居 潤一郎君のご家族

就職に強く、優秀な大学だと再認識。就職面接のレクチャーをしてくれるなど、支援体制も充実していますね。



情報科学科 1年
亀井 雄太君のご両親

予想以上にキャンパスが大きかった。学習面やキャリア面でのきめ細かいサポートは就職にも良さそうですね。



経営システム工学科 1年
長田 和繁君のお母さん

数回キャンパスに来ていますが、2号館に入るのは初めて。大学の歴史展示コーナーが興味深いですね。



自然科学科 1年
伊藤 道玄君のお母さん

息子は小学校から都市大に憧れていました。学生の様子や、大学の取り組み、教職についてお聞きするつもりです。

横浜 キャンパス



環境創生学科 3年
内田 大貴君のお母さん

毎年来ています。息子に直接大学のことは聞きづらいので、大学と保護者との連絡会は本当に大切な機会です。



環境マネジメント学科 3年
押本 泰輔君のご両親

きれいで落ち着いたキャンパスに癒やされます。説明会では非常に懇切に説明してもらい、嬉しかったです。



社会メディア学科 1年
豊田 紗帆さんのご両親

ここは少人数制ゼミやキャリア支援センターなどアットホームなところがいいですね。



情報システム学科 2年
田中 未来さんのご両親

私たちの頃とはカリキュラムも就職も大違い。子どもにはとにかく自分の希望する道を歩んでほしいですね。



情報メディア学科 4年
永森 由惟子さんのお母さん

キャンパスは落ち着いているし、教職員との距離も近い。本当に素敵な大学で4年間を過ごせて良かった。

参加された 保護者の 方々の感想

等々力 キャンパス



都市生活 1年
沖田 智紀君のお母さん

子どもがどんな大学に通っているのか興味があって参加しました。就職について詳しく知りたいと思います。



都市生活 2年
疋田 美杜さんのお母さん

就職や3,4年次の研究室のことなどたくさん聞きたいことがあります。担任教員との面談を希望しています。



都市生活 3年
鎗田 良祐君のお母さん

毎年この保護者会に来ています。今回はとくに就職活動とその支援体制について詳しく話を伺いました。



平成27年度 就職動向と支援

就職環境の変化

景気の上昇傾向を受けて、平成28年3月卒業予定学生の新卒求人倍率(リクルートワークス研究所調べ)は1.73倍(昨年1.61倍)となり、昨年と比較しても一人当たりの求人数は若干ですが増加の傾向にあります。

また大きな環境変化として、就職活動が早期化することによる学修への影響の懸念により、政府からの要請で就職採用活動時期が大幅に変更され、求人情報の公開は昨年度、大学3年生の12月であったのが3年生の3月に、採用選考は大学4年生の4月であったのが8月にそれぞれ後ろ倒しになりました。本学でもこの変更に対応すべく正確な情報を把握した上で、ガイダンスなどでの学生へ意識付けの徹底や支援イベントの時期や内容変更をはじめとさまざまな対応を行ってまいりました。その結果、若干の混乱はありましたが今年度も学生から多くの良い結果報告を受けることができています。

ただ、ここ数年本学の学生に限らない傾向ですが、複数の内定を得る学生と、なかなか内定を獲得することができない学生との差が大きくなってきていると感じています。

学生が内定を獲得するために、「(基礎力+専門力)×就職活動力」を高めることが必要であると本学のキャリア関連の担当者で共有しています。これは低学年時から面接や応募書類作成、筆記試験対策などの「就職活動力」を高める対策を行うということではありません。低学年時にはキャリアの意識を高める内容の授業やガイダンスを行い、「基礎力」を高める授業や課外活動への取り組みの重要性やインターンシップへの積極的な参加の効果を伝えます。また学年が上がってからは全員が研究室に配属される本学の強みを生かし「専門力」を高めることを意識するように伝えていきます。就職活動を迎える時期には、就職指導の専門家が設計した「就職活動力」を高めるプログラムを多数開催し、そのプログラムに積極的に参加することで良い結果につながっています。

また、お感じの方も多いかと思いますが、ここ最近の一つの特徴として社会からはグローバル化へ対応できる人材の育成への求めが強まっていると感じています。海外インターンシップの推進や英会話力を高める支援を始めとするグローバル化への対応も一層進めております。

来年度、平成29年3月卒業生に向けては採用選考時期を8月から6月に変更すると昨年末に発表がありました。2年続けて変更になる就職活動スケジュールに学生が戸惑わないように本学としても十分に対策をしていきます。後援会の皆様からも学生への直接的、また情報提供などの間接的なご支援も一層賜りますようお願いいたします。

本学の取り組み

従来の就職支援業務の枠を超えて、キャリア全般に関わる幅広く充

実したサービスを提供できる「キャリア支援センター」を各キャンパスに設置しています。

各キャンパスのキャリア支援センターには専門の相談員が常駐し、就職の相談のみならず、職業選択や進学など、将来の進路についての確かなアドバイスを受けることが出来ます。常駐しているスタッフの多くがキャリアカウンセラーの有資格者であり、キャリアに関わることはどんなことでも安心して相談をする環境ができています。卒業生や先輩学生による密度の濃い情報をはじめ、各社の求人、公務員、Uターン、就職活動支援サービス会社の各種資料なども豊富に提供しています。

また、各学科では就職担当教員がキャリア支援センターと連携して強力に学生をバックアップし、学科の強みや特徴を活かして、一人ひとりのニーズにあった支援を展開しています。就職支援行事は学内で実施するものだけで100回以上にのぼり、徹底してキャリアについて考える機会をつくっています。更に本学の前身である武蔵工業大学時代からの強みである「社会で活躍する卒業生」のご協力を得て、学部・学科ごとに企業・業界セミナーや相談会を実施するなど、充実した支援体制を整えています。

もちろん就職に関する個別相談も充実しており、カウンセラーによる面接指導や履歴書添削だけでなく、自己分析等の指導も積極的に行い、基礎から応用まで、幅広い指導をしています。

それ以外にも、本学の学生を指定して寄せられる独自の求人だけを検索出来るシステムなどにより、内定獲得を目指す学生を強力に支援しています。

平成27年度の状況

今年度の就職状況は、文部科学省発表の2015年10月時点での国公立大学の平均内定率は「66.5%」となりました。本学では10月時点で7割を超える決定率となっております。人間科学部の保育業界希望者は、これからが選考のピークを迎えることを考えましても、全国平均に比べて十分健闘をしておりましたが、本学としては、まだ活動を継続している学生に対する支援は最優先と認識しております。これからも学内での企業セミナーや継続して求人を行っている企業の情報を収集し一層の就職活動の支援を実施してまいります。これからの時期、就職活動学生の「モチベーションの維持」「活動を続ける姿勢」が重要なポイントとなります。

最後に

学生の進路に関する意識が多様化し、変化の大きな就職環境に対応すべく、今後ますますキャリア支援業務に注力してまいりますので、引き続き保護者の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成27年度 主な就職内定先企業等 (平成27年12月1日現在)

※数値は就職内定者数

工学部・知識工学部・大学院 工学研究科

■ 輸送用機器	ヤフー	1
スズキ	野村総合研究所	1
トヨタ自動車	日本総合研究所	1
いすゞ自動車	三菱総研DCS	1
富士重工業	■ 運輸	
日野自動車	JR東日本	9
本田技研工業	JR東海	3
ヤマハ発動機	東京急行電鉄	3
日産自動車	JAL	1
マツダ	日本通運	1
■ 電気機器・精密機械	京王電鉄	1
三菱電機	■ 建設	
キャノン	大成建設	9
NEC	東急建設	6
東芝	清水建設	5
凸版印刷	積水ハウス	3
日立製作所	大林組	3
リコー	住友林業	3
富士電機	大和ハウス工業	1
オリンパス	鹿島建設	1
富士通	竹中工務店	1
京セラ	■ 公務	
コニカミノルタ	横浜市役所	10
IHI	東京都庁	2
■ 情報通信サービス	国土交通省	2
NTTデータ	■ その他	
日立ソリューションズ	東京電力	6
SCSK	日本郵便	3
日立システムズ	電源開発	2
ソフトバンク	UR都市機構	2

環境情報学部・大学院 環境情報学専攻

■ 製造業	清水建設	1
NEC	パナホーム	2
日立製作所	国際航業	1
トヨタ自動車	協和エクシオ	1
富士通	オリエンタルコンサルタンツ	1
三菱電機	石勝エクステリア	1
コニカミノルタ	■ 小売業	
クリナップ	イオンリテール	2
アズビル	東急ストア	2
コカ・コーラ・イーストジャパン	セブンイレブン・ジャパン	1
■ 情報通信サービス	小田急百貨店	1
NSD	■ 金融	
DTS	静岡銀行	1
東計電算	川崎信用金庫	1
操盤ジャパン日本興亜システムズ	城南信用金庫	1
東芝ソリューションズ	SMBCフレンド証券	1
東急コンピュータシステムズ	かんぽ生命保険	1
KDDI	明治安田生命保険	1
SCSK	第一生命保険	1
コーエーテクモホールディングス	■ 公務	
大塚商会	神奈川県警	4
■ 運輸・物流	警視庁	2
JR東日本	防衛省自衛隊	1
東京急行電鉄	横浜市役所	1
日本通運	■ その他	
神奈川中央交通	イツコムコミュニケーションズ	3
■ 建設・不動産・住宅	凸版印刷	2
東急ライフシア	日本郵便	2
大和ハウス工業	クラブツーリズム	1
スターツコーポレーション	朝日広告社	1
東急リパブル		2

都市生活学部・人間科学部・大学院 都市生活学専攻

■ 建設・不動産・住宅	■ 金融	
東急コミュニティ	日本生命保険	2
住友林業ホームテック	三井住友銀行	1
野村不動産パートナーズ	神奈川銀行	1
旭化成ホームズ	栃木銀行	1
旭化成リフォーム	静岡中央銀行	1
戸田建設	■ 公務(事務・福祉・保育)	
中日本高速道路	世田谷区役所	4
大和ハウス工業	横浜市役所	4
積水ハウス	総務省	1
タイムズ24	板橋区役所	1
東急住宅リース	渋谷区役所	1
東急ホームズ	東急区役所	1
■ 商業施設・ディスプレイ	新宿区役所	1
乃村工務社	杉並区役所	1
丹靑社	港区役所	1
高島屋スペースクリエイツ	八王子市役所	1
三井デザインテック	川崎市役所	1
東急モーステロップメント	大和市役所	1
西武プロパティーズ	船橋市役所	1
■ 運輸・製造・卸売・小売	甲州市役所	1
東京急行電鉄	八戸市役所	1
荏原実業	■ 保育業界	
JR東日本	保育園・幼稚園・施設等	44
小田急電鉄	■ その他	
沖電気工業	日本郵政	1
東急ハンズ	日本郵便	1
ミキハウス	東京電力	1
エバラ食品工業	共同テレビジョン	1
セブンイレブン・ジャパン	NTTデータフロンティア	1
	ゼンリン	1

採用活動・進学スケジュール(例)

学部3年生 / 修士1年													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
就活ポイント	●自己分析		●インターンシップエントリー参加			●業界研究・職種研究						●企業研究	
企業			インターンシップ ナビプレオープン	インターンシップ 説明会セミナー	インターンシップ				インターンシップ			就職ナビ クライアントオープン	
公務員 (受験する職種等によりスケジュールが異なりますので、参考としてご覧ください)					インターンシップ						公告 国家公務員	公告 地方公務員	
進学	大学院に進学するか、就職するか熟慮(年内を目処に) 進学の意思を決定次第、志望校の選定および受験科目の確認。受験勉強開始										指導教授等と相談の上 進学先の決定		

※対象は平成29年3月以降の卒業予定者となっております。

学部4年生 / 修士2年												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就活ポイント	●自己分析		●企業研究				内定					
企業	●エントリー ●会社説明会		●採用試験				10月以降も継続して採用を行っている企業があります。 内定を獲得するまで粘り強く取り組みましょう。					
公務員 (受験する職種等によりスケジュールが異なりますので、参考としてご覧ください)	受付期間 国家公務員		1次試験		2次試験		最終合格					
	受付期間 地方公務員		1次試験		2次試験		最終合格					
進学 (本学の場合)	大学院推薦入試 (A日程) 願書提出 / 試験		大学院一般入試 (B日程) 願書提出 / 試験				大学院一般入試 (C日程) 願書提出 / 試験					

本学のキャリア支援スケジュール

●キャリア支援とは、就職、進学など卒業後の進路決定の支援や、将来のために役立つ準備を行う機会や情報の提供などを行うと考えています。

世田谷キャンパス (SC)	1 年生	2 年生	3 年生						
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
キャリア支援	技術系の強みを生かせるよう普段から授業をしっかりと頑張ろう!		技術系の素養を高めるため、専門科目の学修に注力(技術系就職の基礎)						
	4月: ・キャリアガイダンス ・進路適性検査 ・進路適性検査のフォローアップガイダンス ・キャリアポートフォリオガイダンス 4月/5月: インターンシップ対策講座 8月/9月: インターンシップ等に積極的に参加 9月: ・キャリアポートフォリオガイダンス	4月: ・キャリアガイダンス ・進路適性検査 ・進路適性検査のフォローアップガイダンス ・キャリアポートフォリオガイダンス 4月/5月: インターンシップ対策講座 8月/9月: インターンシップ等に積極的に参加 9月: ・キャリアポートフォリオガイダンス	就職支援プログラム 実践直結プログラム	就活基礎力養成			公務員対策		
就職支援プログラムには全学年参加可能です。		・就活入門ガイダンス ・インターンシップガイダンス ・インターンシップのための企業説明会 ・SPI模試・解説 ・公務員ガイダンス ・マナー講座		いざ! 本番に向けて、本エントリー攻略					
キャリアアップ講座(全学年対象となります): 5月~12月 課外英会話講座(40分/日・年間100回) 他									

横浜キャンパス (YC)	1 年生	2 年生	3 年生						
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
キャリア支援	進路・勉強方法を考える		着実に就活力をつけていくための基礎力講座<履歴書・ES対策>						
	4月: ・キャリアガイダンス ・進路適性検査 ・進路適性検査のフォローアップガイダンス ・キャリアポートフォリオガイダンス 4月/5月: インターンシップ対策講座 8月/9月: インターンシップ等に積極的に参加 9月~: ・キャリアポートフォリオガイダンス ・キャリアデザイン基礎	4月: ・キャリアガイダンス ・進路適性検査 ・進路適性検査のフォローアップガイダンス ・キャリアポートフォリオガイダンス 4月/5月: インターンシップ対策講座 8月/9月: インターンシップ等に積極的に参加 9月~: ・キャリアポートフォリオガイダンス ・キャリアデザイン	就職支援プログラム 実践直結プログラム	就活基礎力養成			本エントリー攻略、実践対策講座		
就職支援プログラムには全学年参加可能です。		・就活入門ガイダンス ・インターンシップガイダンス ・SPI模試・解説 ・マナー講座 ・公務員ガイダンス ・就職セミナー		・進路適性検査 ・筆記試験対策(SPI3, CAB, GAB, 一般常識) ・履歴書・エントリーシート対策講座 ・文章力強化講座・業界・会社の選び方 ・面接(個人・集団)対策講座 ・グループディスカッション対策講座 ・内定者懇談会・マナー講座					
キャリアアップ講座(全学年対象となります): 5月~12月 課外英会話講座(40分/日・年間100回) 他									

等々力キャンパス (TC)	1 年生	2 年生	3 年生						
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
キャリア支援	授業を通じ、社会のトビラを開けてみよう!		社会人へのトビラ「社会人基礎力」を向上させよう!						
	4月: ・キャリアガイダンス ・進路適性検査 4月/9月: キャリアポートフォリオガイダンス(フレッシュヤーズゼミと連動) 7月: インターンシップガイダンス 8月/9月: インターンシップ、ボランティア等に、積極的に参加	4月: ・キャリアガイダンス ・進路適性検査 4月/9月/12月: キャリアポートフォリオガイダンス(キャリアデザイン1・2と連動) 7月: インターンシップガイダンス 8月/9月: インターンシップ、ボランティア等に、積極的に参加	就職支援プログラム 実践直結プログラム	就活基礎力養成			公務員対策		
就職支援プログラムには全学年参加可能です。		・キャリアデザイン(3)(都市生活学部)・特別講義 ・就活入門ガイダンス・就職講演会 ・インターンシップガイダンス ・SPI模試・解説		・公務員試験対策講座(集中講座) ・キャリアデザイン(4)(都市生活学部) ・就職ガイダンス ・進路適性検査 ・就職講演会・就職セミナー ・履歴書・エントリーシート対策講座・SPI集中対策					
キャリアアップ講座(全学年対象となります): 5月~12月 課外英会話講座(40分/日・年間100回) 他									



※対象は平成29年3月以降の卒業予定者となっております。

3年生					4年生										
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					今までの学修を生かし、卒業研究に注力(研究内容をしっかりアピールできるように)						内定獲得まで諦めない支援				
最終総仕上げ					進路相談強化					個別指導の徹底					
<ul style="list-style-type: none"> 就職ガイダンス(Uターンガイダンス含む) 履歴書・エントリーシート対策 筆記対策(SPI-一般常識) ・マナー講座 面接・グループディスカッション講座 					<ul style="list-style-type: none"> 求人紹介など内定直結型の支援を行います。 					<ul style="list-style-type: none"> 大学求人票と進路希望登録書を有効活用し、志望・適正に応じた求人紹介を徹底的に行います。 					
公務員対策 <ul style="list-style-type: none"> 公務員試験対策講座(集中講座) 公務員試験模擬試験 面接カード記入ガイダンス 															
進路個人面談 <ul style="list-style-type: none"> 3年生全員対象 学校推薦対象者決定 大学院進学希望調査 															
業界研究会					企業研究会					企業研究会					
<ul style="list-style-type: none"> 実際にお仕事をされている方をお招きして学内において各業界の説明会を行います。 					<ul style="list-style-type: none"> 人事担当者、OB、OGをお招きして学内において説明会を行います。 					<ul style="list-style-type: none"> 優良企業をお招きして学内において説明会を行います(随時)。 					

3年生					4年生										
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					徹底的な書く・話すチカラの強化…個人面談にて、履歴書を元に話す練習 <面接対策>						内定獲得まで諦めない支援				
最終総仕上げ					進路相談強化					個別指導の徹底					
<ul style="list-style-type: none"> 履歴書・エントリーシート対策 面接・グループディスカッション講座 学校推薦ガイダンス 					<ul style="list-style-type: none"> 進路希望登録書を元に面談 求人紹介など内定直結型の支援を行います。 					<ul style="list-style-type: none"> 大学求人票と進路希望登録書を有効活用し、志望・適正に応じた求人紹介を徹底的に行います。 					
公務員対策 <ul style="list-style-type: none"> 公務員試験対策講座(集中講座) 論述・面接対策 公務員模擬試験 										ハローワークとのジョイント <ul style="list-style-type: none"> ハローワークの専門相談のブースを設置 					
模擬面接&グループディスカッション講座 <ul style="list-style-type: none"> 採用コンサルタントによる徹底講座 															
業界研究会					企業研究会					企業研究会					
<ul style="list-style-type: none"> 実際にお仕事をされている方をお招きして学内において各業界の説明会を行います。 					<ul style="list-style-type: none"> 人事担当者、OB、OGをお招きして学内において説明会を行います。 					<ul style="list-style-type: none"> 学内合同企業説明会(月1回程度) 個別企業説明会も開催(随時) 					

3年生					4年生														
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
					トピラの向こうへ! 就職活動スタート!						内定獲得まで諦めない支援								
					保育業界採用スタート→														
いざ!本番に向けて!本エントリー攻略					公務員対策					進路相談強化					個別指導の徹底				
<ul style="list-style-type: none"> エントリーシート対策 面接対策各種集中指導 グループディスカッション対策 					<ul style="list-style-type: none"> 公務員試験対策講座(集中講座) 					<ul style="list-style-type: none"> 履歴書・就職セミナー エントリーシート/グループディスカッション/面接対策 採用情報提供 個別面談 					<ul style="list-style-type: none"> 個別面談 個別指導 キャリアカウンターで随時相談受付 				
進路個人面談																			
<ul style="list-style-type: none"> 進路に合わせて個別指導 進路希望登録書 																			
業界研究会					企業研究会					企業研究会									
<ul style="list-style-type: none"> 実際にお仕事をされている方をお招きして学内において各業界の説明会を行います。 					<ul style="list-style-type: none"> 人事担当者、OB、OGをお招きして学内において説明会を行います。 					<ul style="list-style-type: none"> 学内企業説明会開催(随時) 									

横浜キャンパスの巻

環境学部とメディア情報学部、環境情報学部がある横浜キャンパスは、木々に囲まれた気持ちの良い高台に立地しています。ここは日本の大学としては初めて「環境ISO14001」の認証を取得し、豊かな自然環境との調和をめざした“エコロジカルキャンパス”。また同時に、専門性の高い学びを支援する最新の情報システム環境を整備した“サイバーキャンパス”でもあります。



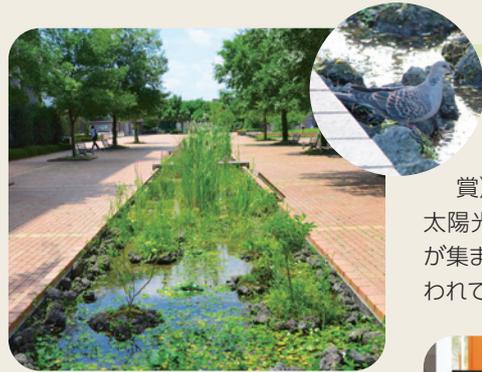
エコロジカルキャンパス

豊かな緑に囲まれたキャンパスは自然の生態系との共生がコンセプト。約65,000㎡の敷地自体、丘陵地の地形をそのまま生かしたものです。横浜市が推進するグリーンマトリックスシステムに準拠し、柵のない構内は地域の人々が自由に散策できる都市公園として機能しています。採光や通風の工夫、太陽熱・雨水の活用、省資源などにも配慮。キャンパスそのものが環境を学ぶフィールドです。



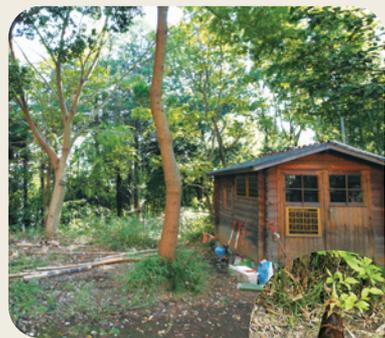
環境に優しい技術・工夫

庇や袖壁で直射日光を遮り、窓には遮熱効果の高いペアガラスやLow-Eガラスを採用。自然光を取り込むハイサイドライトやライトシェルフで、照明の無駄も低減しています。冷暖房には深夜電力を使う蓄熱式ヒートポンプエアコンを活用。7分別の資源回収BOXも各所に配置しています。



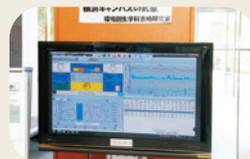
ビオトープ

中庭にあるビオトープは、環境創生学科・田中章教授の研究室が企業と共同開発し、2009年度エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)を受賞した「フールパレットシステム」によるもの。太陽光エネルギーで水を循環させ、多様な植物や生物が集まる湿地帯を作り出しており、ここを使った研究も行われています。



保全林

敷地の1/5以上は、このキャンパスが誕生する前からの植生を生かした保全林です。エリアに分けて、自然の姿のまま置く、人間が適度な手を入れるなどの実験を行い、里山の環境をどう守るべきか全国に向けて情報発信しています。約52種もの樹木が茂る豊かな林では、タケノコやビワ、梨、柿などが採れ、鳥やタヌキも暮らしています。



気象計測

キャンパス内の温度、風力、放射線量、花粉やPM2.5飛散量などを3号館の大型モニターにリアルタイム表示。データは環境統計学にも活用されます。



31F教室

カラフルな椅子を自由に配置できる31F教室は、壁全部がホワイトボード。アメリカンスタイルの活発な対話の中から豊かな発想を生み出す場です。



31E教室

環境分野の多彩な実験・計測・分析を行えるのが31E教室。イオンクロマトグラフィやインキュベーター、電子天秤など高精度の専門機器を揃えています。

キャンパスのセキュリティ

誰でも敷地に入れるオープンなキャンパスですが、セキュリティは万全。全域を網羅するセンサーや防犯カメラで、不審者はすべて追尾できます。

「学生食堂の100円朝食は、オムレツやトースト、サラダなどしっかりと食べられて助かります」「日替わりで和食の日もあるし、本当に便利」と環境創生学科1年の2人。



21世紀は環境と情報がキーワードと言えます。学生たちにとっては、キャンパス自体が自然との共生を考える場。さまざまな実験や研究を通して、環境への取り組みもさまざまに進化を続けています。世田谷キャンパスにある工学部や知識工学部でも、このキャンパスを使った授業をしています。



吉崎 真司 環境学部長



学生食堂・コンビニ

4号館1階は学生食堂「カフェテリアグリーンハウス」。昨年度からスタートした100円朝食も人気です。2階学生ホールには焼きたてパンやお弁当も充実したコンビニや、文具・書籍のショップもあります。





3号館屋上から新宿 副都心方面を望む眺望



情報基盤センターYC

2号館は情報ネットワークやコンピュータに関する研究・教育の拠点です。ここには図書館と共に情報基盤センターYCを設置。文理複合型キャンパスにふさわしく約450台のパソコンや3Dプリンター、4K映像が撮影できるスタジオなど最新の設備が次々と配備されています。無線LANなどの環境も充実。キャンパス内ではどこにいても個人のノートパソコンで学内ネットワークにアクセスできます。



メディアホールで独習中だった環境創生学科1年の遠藤君。「空いているPCは誰でもいつでも使えます。週に数回は利用しています」



中村 雅子 メディア情報学部長

横浜キャンパスの情報インフラについては、よく卒業生が「在学中は当たり前に使っていたけど、卒業してからすごくハイレベルだったと分かった」と言います。サイバーキャンパスは、まさに学習や研究を縁の下で支える基盤です。ぜひフル活用して学びを深めてほしいと考えています。



入り口ホールでは休講情報や施設利用状況などを表示。



1階メディアホールには自由に使えるPCが多数。3Dプリンターや大型プリンターもあり、一人でもグループでもゆったりと課題に取り組めます。

体育館・トレーニングルーム

体育館は床面積2100㎡と広々。アリーナの他、各種マシンの揃ったトレーニングルームや、屋根のソーラーパネルを利用した太陽熱温水シャワー室があります。



キャリア支援センター

キャリア支援、教育支援、学生支援などの機能が集まるのが1号館1階。キャリア支援センター資料室には採用試験の報告書や各種就活資料、検索用PCがあり、履歴書や面接の指導、インターンシップの相談も受け付けています。

キャリア支援センターは2度目の利用という又見君は情報システム学科3年。「就活に役立つ資料や本が豊富だし、いつでも相談に乗ってもらえるのがいいですね。ここを活用して、めざす進路に向けて頑張ります」



楷樹【カキノキ】

キャンパス内に繁る104本ものカキノキは、中国山東省にある孔子廟の林から世界各地に植え継がれ、学問の聖木とも讃えられている木。東京の林業試験場で育てたものを初代学部長が譲り受けて植樹し、今では大きく育ちました。秋の紅葉も見事です。

- 1号館 本館／事務室、医務室、学生相談室
- 2号館 情報基盤センター、図書館
- 3号館 講義、研究棟
- 4号館 食堂棟、学生ホール、文具ストア、コンビニ
- 5号館 体育館、トレーニングルーム、部室棟

クラブ活動紹介

file number
33

学修や研究に打ち込むことも大切ですが、学科や学年を越えた仲間と切磋琢磨する課外活動もまた、人間形成、そして生涯つきあえる良き友を得るための有益な場です。今回は世田谷キャンパスの「ワンダーフォーゲル部」、横浜キャンパスの「将棋サークル 一歩」、等々カキャンパスの「エレクトーンサークル sky tone」の活動をご紹介します。

世田谷
キャンパス

ワンダーフォーゲル部

リスク管理と助け合いの精神を根幹に、山と自然を謳歌



顧問

白旗 弘実(都市工学科 准教授)

学生責任者

松岡 拓志(情報通信工学科 3年)

部員数

38名(男子部員36名、女子部員2名)

主な活動

5月 新歓合宿

6月 新人養成合宿

8月 歩荷合宿/夏合宿

9月 山小屋ワーク合宿

10月 秋合宿

3月 春合宿

山頂を目指すだけでなく、自然に親しむことを大切に

今年で創部60周年と伝統ある都市大のワンダーフォーゲル部は、体育会に所属しながらも自主性を重んじ、闊達な活動を続けるユニークなクラブ。昨年11月28日には本学のメモリアルホールで、60年記念式典も行いました。

ワンダーフォーゲルとは、19世紀後半にドイツにおいて発祥した、広い意味での自然主義を背景とする青少年による野外活動。部長の松岡拓志君(情報通信工学科・3年)は、山岳部との違いを次のように説明します。

「単に山頂を目指すというだけでなく、自然に親しむことに重きを置いているのが特徴です。それだけに、時にはスキューバダイビングやカヌーにチャレンジしてみたりもしています」

そんなワンダーフォーゲル部には、「メンバーの1人でも体調を崩したり、事故に遭ったら、全員で下山する」という厳格なルールがあります。最大のイベントは毎年3泊4日で3,000m級の山を縦走する「夏合宿」ですが、昨年はメンバーの1人が登りはじめて3時間でスズメバチに刺され、やむなく中止をしたそうです。

活動の中心は年7回の合宿。先の「夏合宿」に加えて、新メンバーを迎えてコミュニケーションを図る「新歓合宿」、夏合宿に向けて新入生のレベルを見極める「新人養成合宿」、夏合宿のためのトレーニングを行う「歩荷合宿」、OB所有の山小屋で1週間にわたって寝食を共にする「ワーク合宿」、翌年への世代交代に備える「秋合宿」、そして3年生の追い出しを兼ねて皆で楽しく自然に触れることに主眼を置いた「春合宿」があります。



大勢のOBが駆けつけてくれた「創立60周年記念懇親会」

歴代顧問記念品贈呈



春合宿で沖縄・波嘉敷島へ
2人1組で安全を確認し合いながら、スキューバダイビングも体験



優男なれど、実は肝が据わっている現部長の松岡拓志君。高所恐怖症だったという秘話も明かしてくれました。



個性が強い集団のまとめ役としての実績が買われて、来期、部長を務めることに決まった岩田竜輝君。



入部当初は「箱入り娘」的だった岩竹涼実さんは、いまや貴重な参謀役。現役では紅一点の頑張り屋さん。



失敗も笑いに変えてしまう才能を持つ松本慧君は、後輩から慕われ、先輩から可愛がられるムードメーカー。



当初はしんどそうに登っていたという佐々木啓介君。それでも辞めずにトレーニングに励む努力家です。



石関将太君は、1年生ながら自分で動く積極性が魅力。とにかく「気付きの人」で、先輩たちを助けています。

「ワーク合宿では、近隣の自然や環境を守るためのボランティア活動や山小屋の修繕などを行います。OBも途中で合流して、キャンプファイヤーを囲んで楽しく過ごします」(原子力安全工学科・2年 岩田 竜輝君)

「昨年の春合宿では、皆で沖縄の渡嘉敷島に行き、ダイビングを体験。山歩きの集団でも海が恋しくなるみたい(笑)」(建築学科・3年 岩竹 涼実さん)

また、合宿の楽しみは何と言っても皆で作って食べる食事。その際に同部には、脈々と続く伝統のレシピがあります。CSCと呼ばれるそのメニューの正体は、コンソメ&シーチキン&コーンの炊き込みご飯。他大学との合同合宿でも、「都市大の食事は美味しい」と評判になっているそうです。

普段は和気あいあい、山では抜群の団結力を発揮

いまや「山好き、自然好き」を自認するメンバーたちですが、実はほとんどが大学までは登山の経験がなかったといいます。そんな彼らが最も気を使っているのが、自然の脅威に対するリスク管理。登山前には必ず企画書を作成。皆で山の本を熟読したり、ディスカッションしながら、不備のチェックやルートの確認を繰り返します。ワンダーフォーゲルの学生連盟の中にある「事故対策委員会」に参加し、全員で講義を聴くことも欠かしません。

また、登山の際には「1人でも欠けたら下山」というルールに徹する一方、「全員で助け合い、フォローし合う」という精神を極めようとしています。

水曜と土曜の週2回行われる普段の活動は、基本的にはトレーニングが中心。多摩川河川敷まで約2kmのランニングをしたり、合宿近くになると2リットルのペットボトル15本分をリュックに詰めて急坂を登ったり、テントの建て方を実習するなど、鍛練を忘れません。同時に、後輩たちのレベルアップを目的に、先輩たちが先陣を切って、個人山行を企画したりもしています。

「モットーは『下界で仲良く、山で頑張り』。とにかく和気あいあいとやっています。学業のリフレッシュにもなりますし、素敵な仲間たちと出会い、学生生活がさらに充実しています」(情報通信工学科・2年 松本 慧さん)

この他、ワンダーフォーゲル部は大学から江ノ島まで歩くナイトラリー、体育祭、学園祭など、大学の行事にも積極的に参加しています。来年も未経験者を含めて新入生を迎えることが、いまから楽しみで仕方がないようです。



薪割り、炊飯の後には、至極の食事が待っています



山荘で寛ぎ、語り合うのも素敵な思い出

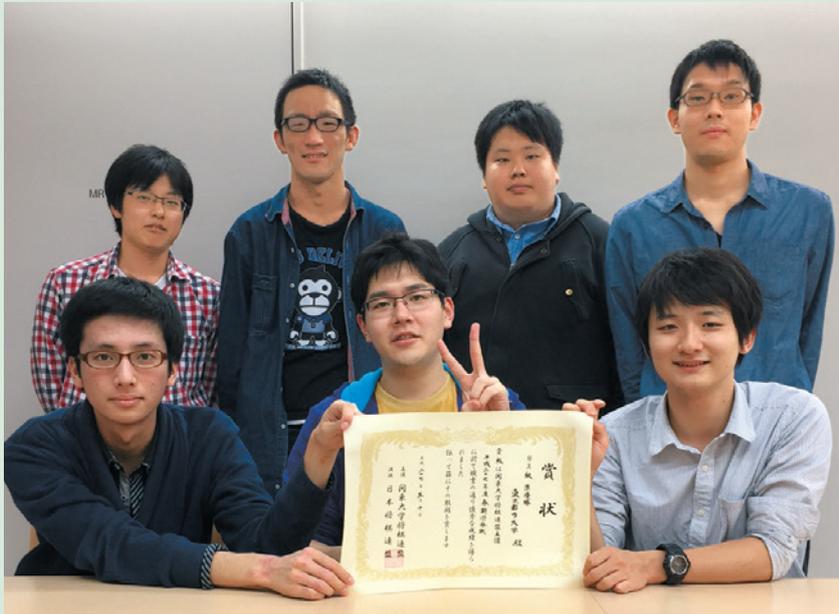


快晴に恵まれた歩荷合宿。3,190mの北岳を制覇



将棋サークル 一步

対局を通じて互いに切磋琢磨する



顧問	梅原 英一 (情報システム学科 教授)
学生責任者	青木 鷹弘 (情報科学科 3年)
部員数	15名 (男子部員のみ)
主な活動	4月 関東大学将棋連盟 春季団体戦 // 春季個人戦 5月 関東大学将棋連盟 春季団体戦 9月 関東大学将棋連盟 秋季団体戦 // 秋季個人戦 10月 関東大学将棋連盟 秋季団体戦

団体戦参加をめざして2年前に立ち上げ

将棋サークル『一步』は、2年前に発足したばかりのまだ若い愛好会です。スタートのきっかけを作ったのは環境情報学科4年の中澤航太郎君。子供の頃にお父様に将棋を教わり、高校でも将棋部に所属していたのですが、「大学でも続けたかったのだけれど部活がなくて、1年間かけてメンバーを募り、2年次になった時に『一步』を立ち上げました。将棋はいくらか知っていても、サークルでやりたいという人がなかなかみつからず、人集めはけっこう大変でした」(中澤君)

同じく環境情報学科4年の岡本和哉君は、中澤君に誘われて加わった立ち上げメンバー。小学校3年生くらいから将棋を覚えたといいます。

「以前は一人か仲間内で楽しむだけだったので、声を掛けてもらってうれしかったですね。学生の大会には個人戦と団体戦があって、大学のサークルに所属していないと団体戦には出場できません。関東大学将棋連盟での大会に参加しようというのが、『一步』の大きな目的です」(岡本君)

もともと将棋に親しんでいた学生が多くを占めるサークルですが、もちろん初めての人でもOK。団体責任者の青木鷹弘君(情報科学科3年)も、加入した頃は駒の動かし方を知っている程度だったそうです。

「でも遊びでやっているだけでは面白くなくて。本気の大会で勝ち負けを争うような環境に興味がありました。経験が多いほうが強くなるでしょうが、全くの初心者でも、基本のルール



3日間にわたって行われる関東大学将棋連盟団体戦
各チーム7人ずつがそれぞれ対局します

さえわかれば楽しめます」(青木君)

学内での活動は週1回。学生食堂に集まって自由に対局します。終わった後は、今の勝負を振り返る感想戦を行い、先輩からアドバイスを受たりもします。自分がどのように駒を動かしたか再現するのは難しそうですが、続けていくうちに誰でも自然に身につくものだとか。

「『棋は対話なり』という言葉があります。同じ人と指す時も、前と同じ局面になってはつまらない。今日はこう指すよと、口に出さずに対話しているんです。それが楽しいんですよ」(岡本君)



「一步」を立ち上げた中澤航太郎君。高校時代から環境に関心があったそうです。メンバーによると、「雰囲気も棋風も居飛車」。



「定跡に詳しく、終盤に強い」と言われる岡本和哉君。環境に関わる経済や経営に興味があり、運送業界に内定しました。



人工知能を研究予定の青木鷹弘君は、もともとゲーム好き。「この1本こそという戦法をきわめるタイプ」だそうです。



B2級において全勝を成し遂げた岡本和哉君



古山卓君は企業の問題点を統計を通して分析中。高校でも将棋部。「棋風は振り飛車。形勢が悪くても攻めの将棋で勝つ」



核融合研究をめざす大石啓嗣君。研究者を訪ねるなど食欲に活動するの、プロ棋士の本物の気迫に触れてきた経験から。



1年生は7人。小鉢直希君は、今はコンピュータ系に興味があるそうです。将棋は小学6年から。道場にも通っています。



団体戦では、会場になる大学の教室内で表彰式も行われます

合理的な道筋を考える手法は研究活動にも通じる

年に2回開催される関東大学将棋連盟団体戦は、40大学あまりが参加します。A級、B1級、B2級、C1級、C2級の5リーグ各8チームで構成され、1チームは7人制(C2のみ5人制)。4勝したチームが勝ちとなり、総当たり戦のうえ、上位2校がリーグ昇級、下位2校が降級となります。そこで、『一步』は快進撃を遂げてきました。

2013年秋季にC2級で初出場し、2014年春季は全勝優勝してC1級、秋季は1引き分けのみの優勝でB2級に。2位につけた今年度春の団体戦では、遂にB1級に昇級することができたのです。

「けれど、続く秋季大会は8チーム中7位という結果になりました。B1級はやはりハイレベル。チーム全体の底力が違いましたね」(岡本君)

「来年度はまたB2級で戦います。B1に戻るため、全員の力を底上げしていかなければと思っています」(青木君)

強くなるためには、どんな練習をするのでしょうか。皆さんに何うとインターネットで対局したり、将棋道場に通ったりという人が多いようです。

「僕はとにかく指すだけ。毎日、スマートフォンのアプリで、だいたい自分と同じくらいの実力の人と指しています」(古山卓君・経営システム工学科3年)

「やはり実戦ですね。上位の相手の手を読んで、自分ならどうするか考えるのが面白いんです。本当に強い相手とだとあっと言う間に負けたりするのも勉強になります」(小鉢直希君・電気電子工学科1年)

その一方、「僕はあまり指さないで、ひたすら定跡の本を読んでいます。こういう理由があって、こういう手があるんだとわかるのが楽しいですね」と言うのは原子力安全工学科2年の大石啓嗣君。「なぜそうなるのかを常に考えることは、学科での学びにも通じると思います」

じっくりと駒に向かい、目的に向かっての合理的な道筋を立てると日々の鍛錬は、確かに大学での研究活動にも良い影響をもたらさそうです。

『一步』は来年度、愛好会から同好会に昇格することになりました。合宿や新入生向けイベントなど、取り組みたいことは多数あります。

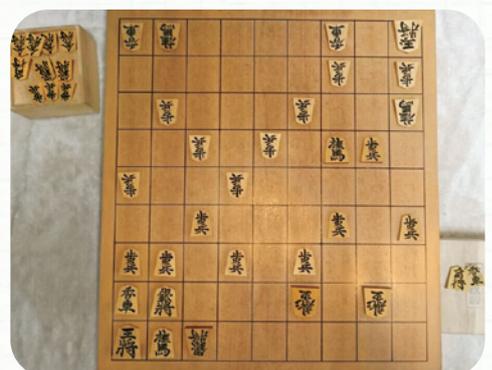
「誰でも気軽に参加できるサークルにして、皆の力でB1級復帰をめざしたいですね」と青木君。学園祭などでのアピールも、これからの楽しみです。



日常の活動はメンバー同士での自由な対局。終わってからの感想戦も大切です



昇級を祝して、記念撮影。喜びのひとつです



三手必至の問題

等々力
キャンパス

エレクトーンサークル sky tone

学園祭をはじめ、さまざまな場で演奏活動



顧問

岩田 遵子(児童学科 教授)

学生責任者

三宅 将央(都市生活学科 2年)

部員数

21名(男子部員10名、女子部員9名、院生2名)

主な活動

4月 新入生歓迎会

5月 バーベキュー

6月 横浜祭/EC新歓コンサート

8月 懇親会/夏合宿

10月 等々力祭

1月 懇親会

2月 冬合宿/3年生を送る会

3月 全国大学エレクトーンサークル ジョイントコンサート

多様な楽器の音色を出せるのが魅力

名前はよく知っていても、触れたことがないと意外とわからないのがエレクトーン。電子ピアノやシンセサイザーとはどう違うのでしょうか。

「まず鍵盤は3段になっていて、上に手で弾くものが2段、下には主に左足で操作するものが1段あり、右足では音量の調節をします。また、リズムが出せるし、設定のしかた次第で管楽器や弦楽器などさまざまな音色が表現できます。設定データはUSBメモリに保存しておいて読み込み、演奏した音も録音しておけます」と教えてくれたのは、今年までエレクトーンサークルsky toneの団体責任者を務めてきた飯塚美冬さん(都市生活学科3年)。「本当にいろいろなことができる楽器。何台もあればブラスバンドやオーケストラのような演奏も可能なんですよ」

sky toneが愛好会として発足したのは2010年。最初は少人数のサークルでしたが、数年前からメンバーもぐんと増えてきたそうです。ここで初めてエレクトーンに触れる人も多数いるとのこと。

「先輩がしっかり指導するから大丈夫。初心者には、よく知っているJ-POPの曲を、右手だけの動きからスタートします。今年入った1年生も、もう両手で演奏できるようになりました」と小泉慶太君(都市工学科4年)。「慣れてきたら上鍵盤はバイオリン、下鍵盤はトランペットといったオリジナルな設定データを作ったりもできますよ」

等々力キャンパスに籍を置くsky toneですが、メンバーは3キャンパス全てに分散しているため、普段の活動は皆が集まりやすい渋谷のエレクトーン専門の貸しスタジオで、約3時間ずつ週2回。スタジオに設置してある5台のエレクトーンを使い、交替で練習しているのだとか。アットホームな雰囲気のあるサークルだけあって、懇親会やバーベキュー、楽器を離れて雪遊びをする冬合宿など、楽しみのイベントも多彩です。



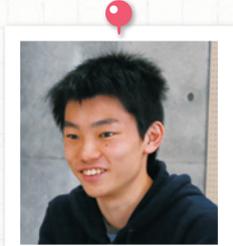
毎週2回は貸しスタジオ備えつけの5台を使って練習



那須での夏合宿
川に行ったり牧場を
訪ねたりしました



鎌倉への小旅行
エレクトーンを離れて
楽しむひとときです



小学生時代からエレクトーンを習っていた小泉慶太郎。道路ネットワークの改善をテーマに大学院で研究を続ける予定。



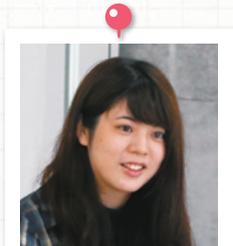
内田有香さんは大学2年からエレクトーンをスタートした努力家。自身の研究では外来種の野鳥の生態調査をしています。



町歩きや旅が趣味の飯塚美冬さん。人と関わるのが好きだとか。今年度のskytoneを支え、皆に頼りにされてきました。



後援会特別賞や学長賞を3年連続で受賞しました



江畑咲さんは明るいムードメーカー。エレクトーン歴は小学生からです。現在は住宅の照明や換気計画を学んでいます。



不思議キャラだけど頼りになる三宅将央君。7歳まで学んだエレクトーンが今では大きく進化しているのに驚いたそう。



受付や司会など手分けしたり、会場を設営するのも楽しみのひとつ

今年度の等々力祭では後援会特別賞を受賞

音楽サークルとして最も大切な活動は、なんといっても演奏会です。そのメインはやはり学園祭。今年度で2度目の参加になる、6月に開催された横浜祭では、20数曲を演奏しました。ソロもあれば2、3人で弾くアンサンブルもあります。

「屋外のステージで演奏させてもらいました。屋内と違って点灯しているボタンがよく見えなかったり、楽譜が風で飛んだりするのは大変でしたが、晴れていると気持ちがいいし、音も遠くまで響く感じがしました」(内田有香さん・自然科学科3年)

同じ6月には首都圏の大学サークルが集まるEC新歓コンサートにも参加。他大学との横のつながりも深く、毎月のように会合もあるそうです。そして夏休み中も練習を積み、秋の等々力祭に備えます。親子連れのお客さんも多く訪れる等々力祭では、「妖怪ウォッチ」のテーマや「宇宙戦艦ヤマト」「エレクトリカルパレード」など誰もが親しみやすい曲が中心でした。

「毎年とのことなので、年々質を上げようと挑戦を続けています」と新しく団体責任者に就任した三宅将央君(都市生活学科2年)。「2日間連続で演奏した今年度は1日の来場100人超をめざして宣伝し、曲数も増やしました」

今年度(第7回)と第5回の等々力祭では後援会特別賞、昨年度の第6回では学長賞を受賞したのもメンバーの大きな励みです。また昨年初めて参加したのが、全国大学エレクトーンサークルジョイントコンサートでした。北海道から大阪まで21大学のサークルが一堂に会しての大規模な演奏会です。

「sky toneは5人で『スカイハイ』、『シルバラード』という曲を演奏しました。会場が広くて緊張しましたが楽しい経験でした」(小泉君)

今年1月はサークル発足5周年。それを記念して昨年12月末には、渋谷のホールで初の単独コンサートも開き、大盛況だったとか。そしてもっかの目標は横浜キャンパスで4月に開催予定の都市大音楽フェスティバル。

「アンサンブルに取り組もうと猛練習中。いろいろな音が出せるから、1人でやっても皆で演奏しても楽しいんです」(江畑咲さん・環境創生学科3年)

次々に演奏活動の幅を広げ続けるsky tone。自由な雰囲気の中、皆でエレクトーンならではの音の魅力を伝えていきます。



屋外ステージで演奏した横浜祭。鍵盤楽器を野外で弾くのは稀なこと



等々力祭では毎年、教室で演奏会を開催しています



全国の大学サークルが集まるジョイントコンサートでは、広いステージでアンサンブル演奏

第86回 世田谷祭

”Hello World”

第86回 東京都市大学世田谷祭 実行委員長
工学部 都市工学科 3年

海野 洸介

保護者の皆様、大学関係者の方々、歴代世田谷祭OB・OGの皆様のおかげで、世田谷祭は第86回を迎えました。今年は世田谷祭テーマ「Hello World」を掲げ、85回分の学園祭への想いとともに関園祭開催時期変更により、準備期間も短くなった中、実行委員が一丸となって活動してまいりました。

工学部・知識工学部がある世田谷キャンパスでは、世田谷祭テーマ「Hello World」から、人と人はもちろんのこと、工学と人とを結びつけるような学園祭創りを目指してきました。実際に学園祭を振り返ってみると、学内生、地域住民、教職員、大学関係者の方々のお力添えなくしてこの学園祭は成り立ちませんでした。私自身、世田谷祭を通してテーマの背景にある、人との関わりを大いに感じることであります。

今年の世田谷祭1日目は、メインステージにて放送会主催の「DJ Festival 2015」や中夜祭の「天下を掴め!技王戦」、参加団体によるステージ企画が大いに世田谷祭を盛り上げてくれました。2日目の「滝川洋二先生によるサイエンスショー」では、今までの参加しづらい講演のイメージを払拭するような、実験をあわせた気軽に訪れやすい講演を実施しました。さらに、アーティストを招いての「TOSHI ROCK FESTIVAL '15」などの文化的な企画が大手メディアに取り上げられるなど、世田谷祭をより多くの方に知ってもらえる大きなきっかけとなり、新たな可能性を見出す形となりました。

学園祭だけに限らず学校行事というものは、学科・学年に関係なく、学生が主体的に動き、大学全体で創り上げていくものだと考えております。我々学生が奮起し、日々邁進していく姿から熱意、活力を準備期間、学園祭当日で感じていただけたのではないのでしょうか。

最後に、将来的に東京都市大学の学生をより多く巻き込んだ、『都市大祭』と呼ばれるような学園祭に、さらには地域住民の方々との交流の場となるよう尽力してまいります。世田谷祭と都市大の更なる発展と向上に努めていきますので、どうかご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

第7回 等々力祭

「グローバる!!」

第7回 東京都市大学等々力祭 実行委員長
都市生活学部 都市生活学科 3年

寺岡 滯

今年で東京都市大学等々力祭は7回目を迎えることができました。今年「グローバる!!」をテーマに掲げました。今、東京都市大学ではTAPプログラム(TOKYO CITY UNIVERSITY AUSTRALIA PROGRAM)が進んでおり、大学が国際化へ向けて動いています。そのため、等々力祭からその動きを発信できないかと思い、テーマを制定致しました。非常に難しいテーマでしたが、毎日英語の特訓に励む学生が、等々力祭で「グローバる」を様々な形で展開してくれました。

目玉企画では、世界で活躍されているEBIKENの名で有名な、蛭名健一さんをお呼びしたトークショーを行いました。興味深いトークに加え、実際にパフォーマンスも見せていただき、プロのダンスを間近で観ることが出来ました。もう一つの目玉企画では、人気男性保育士・てい先生をお迎えし、手遊びや子育て、日常について講演していただきました。親子での来場が多い等々力キャンパスでは、子どもだけでなく親御さんにも大盛況でした。

協力団体からは、茶道サークル柏園会がハロウィンにちなみ、ハロウィンと日本のお茶でお客をおもてなしていただきました。学生団体ならではの企画は、今後も等々力祭を盛り上げていくと実感しました。

また、模擬店団体には各国の料理を出店していただきました。模擬店は例年以上の盛り上がりを見せ、お客様に一番身近にテーマを感じてもらえたのではないのでしょうか。

今回の等々力祭は大成功致しました。大学関係者や地元企業の皆様、模擬店に協力していただいた等々力小学校のPTA、そして上部特殊団体の皆様の力強いサポートにより、第7回東京都市大学等々力祭を無事終了することができました。当団体の活動にご支援・ご鞭撻を賜りましたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。なにより、当日お越しくださった皆様がいなければ、等々力祭は成り立ちませんでした。多くのご来場、大変感謝致します。

来年度も後輩達はその年にしかない思いを胸に等々力祭を作り上げていくことでしょう。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

課外活動短評

- フットサル部 第9回東京都大学フットサル1部リーグにて準優勝。
- 将棋サークル一歩 関東大学将棋連盟春季団体戦にてB2級準優勝し、B1級へ昇級。
- 卓球部 春季関東学生リーグ戦5部リーグにて全勝優勝し、入れ替え戦の結果、4部リーグへ昇格。
- バスケットボール部 第91回関東大学バスケットボールリーグ戦大会5部リーグにおいて2位となり、4部リーグへ昇格。
- 剣道部 第49回関東理工科系学生剣道新人戦において初優勝。春季に行われた第61回関東理工科系学生剣道選手権大会においても準優勝。五十嵐玲音君が、第48回関東理工科系学生剣道戦大会の個人戦において優勝。
- 自然科学科学生会 東日本大震災被災地の宮城県気仙沼市の小学校で学習支援などのボランティア活動を行い、被災地の子ども達が生き生きと過ごすことができる居場所づくりに貢献。
- フィギュアスケートサークル「Axel」 第9回東日本学生フィギュアスケート選手権大会兼第88回日本学生氷上競技選手権大会に出場し、女子Bクラス15位/40人中でインカレ出場権獲得。

世田谷祭



等々力祭



バンドフェスティバル

近年最多入場者数！ バンドフェスティバル

平成27年度 文化団体連合会 本部長 原田 千聖
 知識工学部 情報科学科 3年

平成27年10月3日(土)東京都渋谷区LIVE STAGE GUILTYにおいて文化団体連合会主催のバンドフェスティバルが開催されました。

バンドフェスティバルは「バンフェス」の愛称で親しまれ、年に一度の大きな行事として定着しつつあり、今年度は昨年を上回る203名の方にご来場いただきました。会場内は現役の学生はもちろんのこと、OBやOGの方々、他大学の方々と大盛況。

バンドフェスティバルは例年通り、文化団体連合会所属の全6軽音楽団体が参加し、夏休みの合宿、日頃の練習の成果を発揮するとともに、キャンパスもジャンルも異なる各音楽団体の交流を深めることで、更なる演奏技術の向上を開催の目的としています。また、この中から学園祭ステージに出場するバンドも決定されます。

今年度は軽音楽団体スナイパーズの部員増加を受け、例年よりも1バンド増やし、各団体2バンドずつ演奏していただきました。コール&レスポンスやソロ演奏等で盛り上がる場面もあり、各団体の特色が出るすばらしい演奏でした。

この伝統あるバンドフェスティバルをどんどん進化させ、多くの人を楽しんでいただけるような行事にできるよう、文化団体連合会と音楽団体でより一層協力していきたいと思っております。大きな事故やトラブルもなく、2015年バンドフェスティバルを無事に終了できたこと、また協力していただいた沢山の方々には言葉では言い尽くせない程感謝しております。ありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願いたします。



事務局便り

後援会会員の皆様には、日頃から大学行事ならびに課外活動に対して温かいご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

後援会では、学生の正課外活動に対して重点的に支援を行ってきており、本年度も継続して実施しております「朝活応援企画「100円朝食」」は多くの学生の皆さんに好評を得ております。また、全学生に対して新入生研修行事や将来へのキャリア活動に対しても支援活動を行い、学生と大学、そして後援会の三位一体となった学生生活の向上を実現する取

り組みを実施しております。

大学への協力行事の一つとして「大学と保護者との連絡会」を年1回秋に、全国主要都市で開催しております。私も9月に地方で開催された連絡会に出席し、多くの保護者の皆様と有意義な意見交換を行うことができました。最近の就職状況についての質問には、大学の就職支援プログラム等の説明と、同窓会組織である校友会の支部役員の方からのご説明があり、ご理解のお役に立てたと思います。

今後も社会に貢献する人材を輩出できるよう、教職員が一丸となって学生の教育・指導を行ってまいりますので、引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。



世田谷キャンパス副学生部長
 工学部 医用工学科 教授

和多田 雅哉

◆◆平成27年度◆◆ 「大学と保護者との連絡会」実施結果 ◆◆

平成27年度の「大学と保護者との連絡会」は9月5日(土)から始まり、最終日の10月3日(土)東京・横浜地区までの間、全国20会場において開催されました。各会場の出席状況は以下のとおりで、各地区において理事・評議員の方々には運営等にご協力いただきました。

◆ 会場別出席世帯数 (対象県以外からの出席者を含む)

開催地	開催日	会場名	出席世帯数
札幌	9月12日(土)	札幌全日空ホテル	8
仙台	9月13日(日)	仙台国際ホテル	27
郡山	9月12日(土)	チサンホテル郡山	9
宇都宮	9月12日(土)	チサンホテル宇都宮	25
水戸	9月 5日(土)	三の丸ホテル	28
さいたま	9月 5日(土)	ラフレさいたま	43
高崎	9月12日(土)	高崎ワシントンホテルプラザ	17
新潟	9月13日(日)	ホテルオークラ新潟	16
世田谷	10月 3日(土)	東京都市大学 世田谷キャンパス	936
等々力		東京都市大学 等々力キャンパス	157
横浜		東京都市大学 横浜キャンパス	254
甲府	9月12日(土)	アーバンヴィラ古名屋ホテル	8
長野	9月 5日(土)	ホテルサンルート長野	11
金沢	9月 6日(日)	金沢都ホテル	11
沼津	9月 6日(日)	ホテル沼津キャッスル	27
静岡	9月 5日(土)	ホテルアソシア静岡	35
浜松	9月12日(土)	オークラアクトシティホテル浜松	23
名古屋	9月13日(日)	ホテルキャッスルプラザ	19
広島	9月 5日(土)	リーガロイヤルホテル広島	12
福岡	9月 6日(日)	ホテル日航福岡	15
合 計			1,681

◆ 都道府県別出席世帯数

都道府県名	出席世帯数	前年度出席世帯数
北海道	11	12
青森	2	2
岩手	1	0
宮城	24	26
秋田	2	1
山形	2	3
福島	15	13
茨城	56	66
栃木	40	38
群馬	23	19
埼玉	102	104
千葉	52	62
東京	378	368
神奈川	749	695
新潟	21	16
富山	3	5
石川	7	7
福井	1	1
山梨	13	14
長野	19	23
岐阜	2	4
静岡	94	125
愛知	16	19
三重	5	5
滋賀	0	0
京都	0	0
大阪	1	2
兵庫	3	2
奈良	0	0
和歌山	1	0
鳥取	0	0
島根	0	0
岡山	1	1
広島	10	11
山口	2	1
徳島	1	0
香川	2	1
愛媛	1	4
高知	1	0
福岡	12	10
佐賀	1	1
長崎	2	1
熊本	0	0
大分	0	0
宮崎	3	0
鹿児島	2	1
沖縄	0	0
合 計	1,681	1,663

TCU-COM
2016.January

no.
53

発行・連絡先 **東京都市大学後援会**

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1 東京都市大学内 後援会事務局
電話：03(5707)0104 内線：2227 FAX：03(5707)1160
メールアドレス：kouenkai@tcu.ac.jp